（大正十年四月二十二日第三種郵便物認可）　昭和十六年五月十日　磐城毎日新聞　（土曜日）　第六千八百號　〔一〕

九日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵稅 金十五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報欄 金九十錢
□場所指定一行 金一割增
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八、五六五
發行所 福島縣平市田町十六番地 磐城毎日新聞社
發行編輯兼印刷人 奈合英

日本藝術の特色は生活に入つてゆくことである能樂にせよ歌舞伎にせよ單に鑑賞するのではなく生活上にこれを生かすのである（長谷川如是閑）

閼伽井嵐

釘の配給を見て

美野輪生

人の仕事を批評する事は誰も出來ると云へばそれまでですが歸朝早々の外相松岡閣下の仰せにも「統制をするなら經驗者にさせよ」と云はれて居る、今度の釘の配給はどんな方面の方が支給したか解りませんか、これを大工さんか指物屋さんに批評させたらどんな事になるか、恐らくかうではないかと思ふ。去る一日配給券を二枚を持つて配給受けに行くと「一寸六分しかありません」と云ふ。八分か一寸で間に合ふ筈の釘を特に頼んで一寸二分を百目と一寸六分を百目と受けて歸りました。本數を數へて見ると一寸二分は三百五十本、一寸六分は二百三十本有りました。この一寸六分を無理に使用する時は約三割五分の釘は徒に木の中に埋れて暮さねばならぬ事になる。これを平市中の配給が何貫目配給されたかわかりませんが、私の想像では貳百五十貫位ではないかと思ふ時、八十貫の埋釘が出來た筈である。三百貫の配給だつたとせば驚くなかれ百貫目の埋釘が出來た事になる、今や日本の非常時は金一匁より鐵一匁の方が遙かに大切の樣に考へらるゝの時、平市丈で八十貫又は百貫と云ふ大量な鐵を而も屑釘ではありません、精錬せる新らしい釘を徒に埋もれさせた事は皆さん何んとしても惜い事では有りませんか、松岡外相の仰せられた事に思ひ當る事が有る樣な氣がするので、釘ばかりでは有りません。この後は益々配給制度が多くなる事と信じます時、この拙文が幾分なり御參考になれば幸甚です。

春宵文學話（八）

【於霞ヶ關茶寮鼎談】

大鹿卓
榊山潤
富澤有爲男

◇地方新聞はその使命に目覺めよ◇

記者　地方新聞自身の持つてゐる使命を打毀してしまつたのだからね……

榊山　地方新聞自身で建てなほすのが必要だ。

富澤　全く都會の根强い商業力を以てしては潰れてしまふさうだ。

榊山　ところが地方の有力新聞はさうでもない「×××」ね。あれは「讀賣」や「朝日」が進出して來て、どうも駄目だと云ふ噂を聞いたがどうしてなか／＼倒れやしないよ「○○◎」があれだけ彼處に根を生やしてゐる。地方人といふのは、この新聞と付いたら却々潰しやしないよ、つまり傳統の力とその行渡つた信用の爲なんだね。

記者　その地方に張つてゐる新聞の根といふものはなか／＼强いものです。

榊山　東京の新聞と對抗しようとするから不可ないのだ。

記者　地方には地方獨自の行き方がある。それを忘れてゐる、根本の問題ですね。

榊山　自分の特殊な力を發揮して經營すれば宜いゝのだよ。

記者　同縣內に幾つも新聞が寄りあつまつて無駄な競爭をしてゐました。

大鹿　それは政黨の關係だね。

榊山　それと云ふのも福島などでは、變な奴がゐると、政黨の者に叩き出されるからね。福島なんかもあそこに政友會の宿屋と民政黨の宿屋がある、あそこへ行つて最初知らない旅人が政友會の宿屋に泊つて惡口を云つたら叩き出されたさうだ僕はその位の頑固さがあつてもいゝと思ふが、實際叩き出されてもそんな氣質は好きだな（笑聲）他力本願でなく、さういふ風に鄕土の面目を頑固でもいゝから生かしてくれたら宜いと思ふ、それが近い將來の使命として地方新聞の人達に望ましいことだね。

◇變つて來た地方の文學青年◇

記者　さういふ點から考へて地方の文學青年や新聞の讀者と云ふと大分範圍も廣くなるが、小說を讀む地方の大衆といふものに對して、作家はどんなことを希望するかといふやうな事を……これはなか／＼注文はむづかしいが。

富澤　なか／＼このところ……然し地方の文學青年といふのは多いものだな、むしろ東京より……

榊山　多いのだね、地方の方が多いのぢやないか

B記者　九州文學でみてもね、福島の方は

榊山　そりや福島にも多い。併し九州には多いね

春雨物語（七）

大森勇

小山翁は坂下門の變の時、十六、七才の弱年であつたが、君公を護つて切り合つた勇士である。翁が七十何才かの老齢で肺炎に惱まれた。老人の肺炎は一般に豫後不良なので諦めて貰ひ度いと家族の方々に內々で話して置いた。處が不思議にもあんな重症の肺炎が熱が分離して輕快した。當人も家族も限りなく喜んだ。輕快した後も每日往診して見たがその度に御風呂に入り度いが如何だと云はれる死ぬ命が助かつたのだからお風呂は今少し我慢してもらひ度いと答へた。强情な人であつたが命が助かつたのだからお風呂に入らぬ事位は醫者の云ふ事も聞いて遣らねばならぬと考へられたのか、不滿相だつたがお風呂は我慢して呉れた、その中に尿閉を起して病勢惡化して愈々臨終と云ふ事になつた。馳けつけて見たら、病人は口をもぐ／＼させて何か私に云ふ。よく聞いて見るとからである。(已れはあれ程お風呂に入り度いと云うたのに、お前は許して呉れなかつたので、七十何年か生きたので何も殘り惜い事がないが、お風呂に入らないで死ぬのは口惜い）語り終つて法華の太皷の音に誘はれて眠るが如く大往生されたのであつた。快川和尚は心頭を滅却すれば火も自ら涼しと唱へて往生された。我が小山翁はお風呂に入らないで死ぬのは口惜いと云はれて往生された。前者にはいさゝか細工の跡が散見されるから甲の下である。後者には荒削りの大自然その儘の大きな處が見えるから甲の上である。

短歌

散策

（城山）國玉幸子

靜かなる夕べ嬉しく唯一人河原を行きぬ足むくまゝに
春の日は暮れ行き初めぬ山々の一つ／＼に霧たちわたりて
刻々と暮るゝ河原に夕雲雀鳴きつゝ渡る水枯れし河
水枯れし小川の堤さまよへばせゝらぎの音の清く靜けし
我が希望吐ふ事なき淋しさに我泣き濡れてと砂にかき見る
葉櫻に夕日照り映えきら／＼と希望に燃ゆるごと水面彩る

異說赤穗浪士（191）

桃川若燕
（畫）城木喬

小山田喜內

表のざわめきを聞いてお春は飛んで歸り

『お父樣、斯々云々で淺野樣の御浪人が敵討をなすつたさうでございます』

『ナニ、大石殿を始め一統の方々が、吉良の邸へ討入りをして敵討をしたと……』

『定めし兄さんも立派な働きをなすつた事でございませう』

『確かに伜は居るに相違ない。この二月程何の便りも致さなかつたが、矢張り討入りをするので何や彼やと用事があつたに違ひない、オヽ春や、わしは一寸行つて伜に會つて來ませう、杖を出してお呉れ……』

『でもお父さん、こんな雪の日ですから』

『ナニ雪は止んでしまつたし、温かいから大丈夫だ』

伜が敵討の同志に加はつてゐるに違ひない昔氣質の喜內老人、坊主頭に頭巾を冠り、杖をつくと出掛けてきた

『アヽ一寸お訊きしますが……』

『ハイ、何んですね』

『淺野樣御浪人は何處へ行かれましたかな』

『淺野の御浪人はいま仙台樣のお邸で休息してゐるさうですよ』

『有難う御座います』

『お爺さんは何處へ行くんだね。ナニ伜が敵討の仲間に居るんだつて其奴ァ豪氣だ。サァ除いてやんなよ、忠義な伜を持つてゐるお父さんださうだぜ』

『オヽ然うかい。お爺さん此方へ來ねえよ』

と其處は親切なもので道を除けてやる

『有難う存じます』

と喜內は人々に扶けられつゝ、積む雪を踏みしめ／＼伜に會ひたい一心、又二つには大石殿に會ひ數々の苦心の御禮を云ひたいので足痛を堪へて仙台邸の門前に差しかゝる折しも、小門が左右に開かれ二人宛、扶け合つて出て來る義士の面々

『オヽ奥田氏、間瀨氏相變らず御元氣で結構でござる。伜庄左衛門は何れに居りませうか イヤこれは前原氏でござるか、そのお姿でお働きの樣子がよく判り申した。伜庄左衛門の居るところを御存知ならばお敎へを願ひたいが……』

と云はれるが、間瀨も奥田もそれを云ひ兼ね

『アヽ可愛想に、小山田喜內は正直律義な老人だから庄左衛門の事を聞かせたら、さぞ赤面をするだらうし、驚きもしよう 氣の毒だ……』

と誰も顏を背けてしまつて何んとも答へない。

『お答へないところを見ると伜庄左衛門は吉良屋敷內で斬死でも致しましたか。イヤ然う云ふ事があつて呉れゝば拙者は却つて悅ばしい、庄左衛門は殺されましたか、相手は何者で御座るか。早うお聞かせ下さい。アヽこれは武林氏、庄左衛門を御存知でございませう

と唯七の傍へ行く。武林は和久半太夫を斬つたとき創を受けた、そのときは氣が張つてゐたから、左程に痛いとも思はなかつたが、引上げて來る內に氣が緩んだと見えて大分痛みを覺え、槍を杖にしてウン／＼呻り乍ら門を出て來た。

『オヽ大層な創を受けられましたね。日頃の御勇氣と云ひ夜前のお働きは目に見えるやうで、ときに拙者の伜庄左衛門めは日頃から仲睦しうして下されたが伜は如何致しましたかな。此の邊には見えぬやうでござるが、若しや吉良邸で斬死でも致しましたか。伜庄左衛門の在所を御存知ならお敎へ下さい、拙者は小山田喜內でござる、武林氏々々』

と云ひ乍ら默然と目を閉ぢてゐる唯七の袖を引かうとする。

おでん
たつた揚
やきとり
一平
平市二丁目

快適な筆觸
ウヱル萬年筆
金貳圓より數十種
佐々木の
ガラスペン
一本金拾錢より
ガラスペン中の第一級品です一度の御使用が永久の御愛用となる事請合
平市學校坂下
代理店 魁文堂
電話三一三番

大衆向きの小口保險
三百圓より大口契約も
好條件で外交員募る
板谷生命保險株式會社
小名濱代理店 比佐政稱

專門藥 こしけ りん病
岩里 別府淋藥 一週間分 參圓（黑） 五圓（赤）
痛みある病、熱ある病に…
岩里 別府散 七包入 五十錢 十五包入 壹圓
製藥本舖 別府市岩里天然堂
代理店 阿康藥局
平市古鍛冶町 電話四四
振替東京三〇〇五六番

內科 小兒科 外科 性病科
看護婦及び女中募集
院長全快診療に從事
高久病院
院長 高久忠
副院長 赤羽雄
藥局長 佐竹菊清

平病院（元共濟病院跡）
電話四一番
院主院長 醫學博士 鈴木定藏
內科、小兒科 院長 鈴木定藏
レントゲン科 物理的療法科
內臟一般外科 副院長 高橋俊幸
皮膚泌尿器科
藥劑師部長 吉本幸平
每日午前八時より午後九時まで夜間診療に應じます急患は此の限りにあらず

立食
天婦羅
始めました
おでん
もつ燒
一平
小名濱町

磐城セメント
小賣指定
大谷石も賣始めました
野內商會
平市南町
電話一二一番

產科 婦人科
醫學博士 [illegible] 雄二
平市[illegible] 電三六九
病室[illegible]

債券、公債、両替、金融
多田井質店
平市大工町 電話五九一番

外科（內臟、整形）
肛門科、性病科
レントゲン科
上田外科
院長 上田耕作
平市南町 電一二九

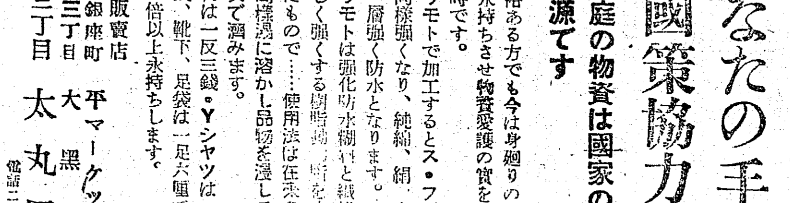
食事 喫茶 酒場
サロン
營業時間
○開店…午前十時より
○御飯は夜九時までに御願致します
○閉店…午後十一時限り
平市銀座街 電話五九三番

お醬油は
味噌、醬油
たひら正宗
鰹節、食料品
山崎合名會社
福島縣平市 營業部 本店 電話一〇 二七番

哲龍子鑑定日のべ
よくあたる 評判のよい
運命鑑定
よく的るからよく人が來る見て貰つた人の話『ウタガイ』とハンモンが解けて氣がせい／＼する
家相、墓相、名相、結婚、病氣その他人事一切の判斷に應ず
日のべ 五月十三日まで（五日間）
每日午前八時から午後六時まで
場所 欣淨內寺 平市堂の前

漁業用
竹織ロープの出現
漁業用『竹織ロープ』の販賣を開始する事になりました。本品は竹の纖維で製造し長期間海水中にあるも絕對腐蝕せず却て强靭性を增加し强度並に耐久力は『マニラロープ』の數倍にて生產の約七割は陸海軍の御用品として亦各地で盛に使用され當町某船主樣より大量の御注文に接し近く納入する事になつて居ります。是非御用命仰付け下され度御願ひ申します
漁業用竹織ロープ
東北地方一手販賣特約店
丹野純一郞商店
小名濱町上横町二四

三五 五〇 セン
織物が强くなるのです
强化・防水を兼ねた織物糊
スフ人絹綿絹 糊と劑を兼ね强化防水 國策品
御推奬 [illegible]
オリモト



あなたの手で國策協力
家庭の物資は國家の資源です
餘裕ある方でも今は身廻りの衣類を永持ちさせ物資愛護の實を擧げる時です。
オリモトで加工するとスフが純綿同樣强くなり、純綿、絹、人絹は一層强く防水となります。
オリモトは强化防水糊料と纖維を美しく强くする樹脂を化合したもので……使用法は在來の糊付同樣湯に溶かし品物を浸して乾すだけで濟みます。
張物は一反三錢・Yシャツは一枚一錢、靴下、足袋は一足六厘で4倍以上永持ちします。
特約店
市內販賣店
平マーケット
銀座町 大黑屋
三丁目 太丸屋 電話一三三番

女車掌募集
未經驗者を希む
【經驗者も可・本人御來談乞ふ】
三井自動車商會
平市二丁目 電話685番

コツキー
國基の五大製品
ケンモーサージ 國民服 甲號 乙號
本絹中衣 甲號 乙號
本絹レインコート 國民服用外套規格
本絹レインコート A號 B號
國民帽と儀禮章
（カタログ生地見本進呈）
技術の優秀 親切な仕立
大量注文も御引受致します
コツキー製品特約店
大崎屋洋服店
平銀座 電九六番

出せ三千年の底力
實用 晴雨傘と初夏の帽子
夏の學生服賣出 綿と同じ丈夫さを持つ本廠製の學生服 五・二〇より
慰問品賣出 兵隊さんの喜ぶ慰問品を取揃へました
スフを丈夫に洗へる洗濯劑賣出 オリモト35 資生堂センタックス50 モノゲン50
平市 大黑屋

白衣の勇士慰問班を 師團長が招待

萬年筆奉仕三日で四百五十本

本社の白衣勇士慰問計書『演藝』萬年筆修理奉仕』と云ふ且つて行はれたことのない劃期的試みだけに既報の如く至る處の病院で割れるやうな人氣を集め、萬年筆修理の如きは何れ、豫定數量の四、五倍宛に達し、専門屋の岡氏も中島助手を動員して眼の廻るやうな繁忙ぶりである、これがため第一日の豫定となつてゐた『山下分院、仙台本院、同分院』の三ヶ所に各一日宛三日間を要し、當初の計畫に依る一週間の行程が三週間位に狂ひが生ずる状況である

本社の陸軍病院慰問は前記の如く豫想以上の成功を收め、白衣の勇士は擧げて歡喜してゐる情報を受けた古本仙台師團長は非常に喜び『感謝の意を表したいから』と七日午後二時特に中島、岡兩氏を司令部に招待歡迎した第二日目仙台病院は慰問演藝後の萬年筆修理奉仕は百本、第三日目宮城野分院は同樣百四十本、師團司令部八十本、この三日間を通じ合計四百五十本の萬年筆を修理するに至つた

【お願ひ】本社の微意を御諒察の上、御國を護つた白衣の勇士御慰問に大方の御協力御援助を切に御願ひ申します

勇士の喜ぶ顔、顔！ 我等の『感激一入』

慰問班第二報、中島湖洲

演藝慰問の後で萬年筆修理奉仕をするのですから相當の時間を要す。然も初めての試みなので、一ヶ所平均三十本位と豫想してゐたのに第一回目の山下療養所では百三十本と相次いで出され先づ驚く・二人がゝりで正味二時間半を要し、相當疲れました。六日は仙台第一病院慰問、此處の萬年筆修理は百本、白衣の勇士達は喜ぶこと／＼……皆さんの喜ぶ顔。顔を見て却つてこちらが感激させられます時間の都合で宮城野分院は又しても延期して七日となる。☆七日……午前九時から正午まで宮城野分院慰問、分院の萬年筆奉仕は百四十本になりました、午後から鳴子病院へ行く豫定の處、突然師團司令部の副官よりお電話があり『今回の諸君の好意に對し師團長閣下が感謝して居られるから午後二時までに司令部へ來るやうに』とのことお呼びに甘えて參上する。急用のため閣下が外出されたのは殘念だつたが、酒井副官殿が挨拶される兩名共只々感激の外なし、そのお禮として司令部の方々を御慰問申上げ、此處でも萬年筆の修理が八十本ありました。午後四時將校の方々の御苦勞々々の聲に送られ、殊に副官殿には玄關までお見送りを戴き益々恐縮して司令部をさようならした

（八日は鳴子分院慰問の豫定）

第三報 ◎◎◎

八日仙台午前六時四十分發列車で鳴子分院に向ふ。鳴子の萬年筆修理四十本、平方部の兵隊さん多く殊に戰地で逢つた人が多い。

感激!!感激!!唯だ感激の外なし……午後五時鳴子發で川渡に戻る、今後川渡一伯九日飯坂に向ふ【石の卷は傷兵ない爲中止】

傷ついた兵隊さん 慰問しませう

藝妓使節・十五圓寄託

平藝妓屋組合の花柳登代藏、杵屋十茂代兩師匠初め、昨年滿洲の荒野に國境護る郷土將兵を慰問行して各方面から感謝された新田町の姐さん方喜代の家金太郎、金榮〆子、品澤えくぼ、開花歌丸慰問使節一行は『傷ついた白衣の勇士慰問は前線を訪ねる以上に尊い慰問です』と左の手紙を添へ本社へ十五圓寄託した

私達は前線を慰問して第一線の兵隊さん達が如何に御苦勞されてゐるかを目のあたりに見ましたから常に感謝の念は離れません。銃後の私達はもつと／＼第一線の兵隊さんに努めねばならないと考へてゐます。第一線の兵隊さんよりも傷ついて内地の病院に歸られた方々はどんなお氣持ちでせう『前線以上にお慰めせねばならぬ』と心にかけながら思ひの萬分の一も出來ずにゐるとき、御社の催しはほんたうに良いお試みであると思ひます。慰問班の方々も御苦勞樣です、同封の金は私達の志ですから慰問費の端にお加へ下さい

△十圓、花柳登代藏 杵屋十茂代△二圓、喜代の家金太郎△一圓、金榮〆子、同品澤えくぼ、同開花歌丸

『防げ防諜』漏すな軍機

强調週間中平市の催し決定

隣組動員徹底圖る

十二日より一週間實施される防諜週間に際し平市では第一日の十二日午後一時二十分より市役所吏員一同市會議事堂に參集、警察部長の放送を聽取、十五日は週報登載の記事を主題に座談會を催し十七日午後三時より市役所給仕、使丁等に書類の取扱ひを注意することに成つた

一方市民に對しては區內會長を通じ防諜週間中の趣旨を徹底さすため宣傳用印刷物を配布、また市內官公衙學校、部落常會隣組、各種團体でも週間中それ／＼講演會、座談會、映畫會輪讀會等を開く筈でこの場合週報及び宣傳印刷物の利用を市では望んでゐる。

この外市內映畫館は週間中休憩時間を利用して防諜の宣傳をする

青少年善導

懇談會で紙芝居公開

不良青少年の善導とその豫防策を協議する平署主催青少年指導保護懇談會は八日午後一時から同署會議室に開催管下礦山工場商店主學校長、司法保護委員その他關係者約二百名が參集、惡の道へ走る原因について菊地探偵長から説明ありこれを中心に前後三時間に亘る忌憚なき意見を交換、最後に澁木次席警部の教化紙芝居を公開同四時頃和氣靄々のうちに結んだが同懇談會には料亭方面のお神さん連も出席してゐた

自轉車組合

五十圓獻金寄託

平自轉車小賣商業組合役員代表鈴木彌太郎氏は八日平市役所を通じ陸軍恤兵部へ金五十圓を獻金した

日曹赤井礦

專用線六月中旬試運轉

一萬噸輸送成る

日曹赤井炭礦の增産計畫に伴ひ昭和十二年起工以來四ヶ年の日數を要し加設を急いでゐた引込線は漸やく線路の敷設を終り、ポッケットの棧橋その他小部分の工事で完了し六月中旬頃試運轉する豫定である

日曹赤井礦は現在トラックを用ひ月産六七千トン輸送して居り、引込線が完成すれば一萬トンの輸送力を備へるので一躍月産一萬トンに進む筈で開通を期待されてゐる

青壯年隊長

【石城郡】

△山田村、大平芳介（村長）△川部村、園部茂（村長）△湯本町鈴木康平（無盡會社長）△川前村、永山忠二（村長）

第三兒童

小遣錢寄附

平第三國民學校兒童一同は小遣錢を節約十一圓五十二錢也市銃後奉公會へ獻金した

乘客輸轄緩和策に 修學旅行廢止

國民校は遠足を計画

鐵道の乘客輸轄緩和策として今年は國民學校の修學旅行を廢止することに成つた、但し聖域勤勞奉仕隊を編成して上京する場合は許可されることになるが、平市內國民學校は斷然中止と決定した

學校では樂しみの修學旅行を全然廢止となつたのでは兒童が可愛想だと云ふ老婆心から日歸り程度の遠足を催すべく二十八日市內各校長が協議する模樣である

四倉町長改選

新妻盛氏四選確實

四倉町長新妻盛氏は來る二十三日を以て任期滿了と成るので十一日午前九時より町會を召集して後任町長を選擧するが現町長新妻氏再選と見られてゐる、尙新妻氏は三期勤め其間同町の發展に盡した功績は頗る大きく築港第一期工事完成第二期工事を繼續施行中、水道布設、學校增築三回、校舍の移轉、町有林の增林山野記念碑建立等々に行つた事業は枚擧に遑なく十一日の町會に於ては他に候補者なく滿場一致現町長の第四期就任が確實と見られてゐる

痘禍漸く解消

小島さんも隔離舍退院

去る十一日平市大町若松醫院に入院中天然痘で死亡した三坂村鈴木たけさんから感染し發熱した天然痘患者勿來町小島長吉君（三三）は平市隔離病舍に入院してゐたがこの程全快、七日退院したこれで一時は恐怖のどん底に叩き落された地方人も天然痘禍からやつと解放された譯である

財政視察團

蓮沼副議長通信

財政視察市議一行は松本君を團長とする去る五日濱松市を振出しに豊橋、松阪の各市を視察し京都、名古屋、靜岡の各都市も視察中候

霜害對策

即効肥料配給を 縣へ具申

豫想外の被害を被つた過般の霜害についてその後蠶業取締所が中心と成つて善後策に腐心中であつたが更に今九日石城養蠶業組合長酒井猶次氏出福十日縣廳に開かれる霜害對策協議會に出席し意見を具申即効肥料の配給について陳情することになつた

各委員の要望する 文協の事業概要

逐條的に檢討して實踐に移す

昨報、文協の事業計畫についてては各委員個々に意見を述べ、委員の意見を基礎に檢討を加へて逐次實行に移すことになつた、各委員の意見は次の如く何れも地方文化向上のため研究を要する重要問題のみである

◆六森顧問 文化運動の重要な問題として、最近喧しく稱へられてゐる食糧問題をとり上げる必要がある、カロリーを計畫して日本人の喰過ぎを抑制し、どんなものを食すべきか、献立を作り市の支部へ提案全市民へ實行させると食糧の節約となる上健康上にも良い、一石二鳥の案だから直ちに着手すべきだ、結婚問題なども經費節約にのみ因はればもう少し深さを持たせる根本問題を正すべきだらう

◆柴田委員 地方紹介のため良いエハガキを作ることをとり上げてほしい寫友會などと連繫して懸賞募集などしたひたい、地方の教育問題など研究しこれを教育上に反映させむる必要がある。磐城人の欠陷は傳統的精神がない、そのために力を出せないのだから奮起を促す磐城魂を作ることも緊急を要する問題だと思ふ

◆五十嵐委員 毎月一回例會を開くこと、文協を繼續的に活動せしむる上に最も必要なことだ・そして會友乃至他の人々の專門的な研究を發表する、分野は教育、宗教、藝術自然科學、何でもよいから各々の智識を廣めることになるでせう

◆中野委員 圖書館を設置する、資金が關係するが文協が促進運動を起してほしい、地方の資料を一堂に蒐めることになり地方人の教養を高める上に必要なことです

◆中柴委員 地方文獻の資料展を開くことが大切だ・事情許さなかつたら調査の參考に資するため文獻の目錄でも作りたい

◆增田委員 既設團体を吸集することが肝要だ、連絡を密にし提携して事業を行ふことを研究すべきでせう

◆花澤委員 資金造成の目的に映畫會などを開いてはどうか、直接眼に訴へて啓蒙することが文化の向上に近道でもある映畫會を研究されたい

◆高瀨委員 五十嵐さんの意見に贊成、地方の玩具を研究して民藝を生かすことが良い、特色ある傳統的な玩具の小品展などを開いて研究して見たいと思ふ

◆諸橋委員 『地方の誇りを持たせる』これは必要だ、國策に協力する建前からも地方美談集など作つて教育資料にしてはどうか、埋れた偉人、學者、藝術家などを顯彰して磐城の傳統と誇りを持たせるため、磐城の第一人者と云ふやうな人を調査してはどうか

世紀の傑作「美の祭典」

文協推薦名畫觀る T・N生

スポーツの美を探究し一篇のニュースに過ぎない數多くの競技を、飽くまで優雅に一種の氣品を漂はせ、巧みに音樂を折込んでスポーツ藝術篇を築き上げた「美の祭典」は吾等の運動神經を刺戟するかてと成るであらう。聚樂館上映中の東和商事提供オリンピア映畫第二部『美の祭典』は吾が市民の……否全國民の見逃すべからざる巨篇である

音樂には特にワルター・グロースタイガー渾心の努力を傾け作曲しだものだけに、靜かな朝もやをついて流れるメロデーはレーニ・リーフエンシュタール女史の苦心になる藝術的場面にピツタリ溶け込んで觀客をして恍惚とさせる、場面全体を通じ跳躍する肢體は逞しい壓力をもつて觀衆に迫り、瞬時の目ばたきも許さない吾が無敵水上陣の健鬪を見よ、吾等をしてオリンピアの興奮に卷き込まずにおかない

磐城文化協會でも、健全な娛樂映畫と云ふので藝術的逸品として推薦してゐる

赤沼部落

青年會館

寄附五百圓集る

草野村大字青年分團では同部落地內に工費五千餘圓を以て青年會館を建設することになり着工したが現在まで集つた赤沼部落意外の寄附金次の如し

△三百圓、高岡文夫△百圓、坂本惣次郎△五十圓、坂本忠治△五十圓、木村守江△三十圓、久田克位△二十圓、四家秀行

郡關係

理事 參與

八日翼贊會町村支部理事參與が縣支部から發表になつた、郡關係左の如し

【豊間】理事、鈴木房次郎、同遠藤專、同大塚吉造、同志賀重太郎、同鈴木市藏◆顧問 四家秀男、同鈴木文十郎、同永山喜助◆參與 馬目常吉、馬目仙十郎【磐崎】◆理事 織內孝平、同大樂與五郎、同御代德次、同淸水角治、同箱崎權重郎◆參與 大田原惣太郎、同瀧牧太、同猪狩喜平治

◎◎◎◎◎◎◎ 白衣勇士慰問班寄附 ◎◎◎◎◎◎◎

△金十圓、花柳登茂藏、杵屋十茂代△金二圓、喜代の家金太郎△金一圓、金榮〆子△金一圓、品澤えくぼ△一圓、開花歌丸、累計二十七圓

駒せり

中寺市場好成績

三阪村中寺二才駒セリは七、八兩日行はれたが出場馬百二十三頭、總賣上げ四萬五千七百三十三錢、平均三百七十一圓八十一錢、最高九百二十圓、最低二百圓の好成績を納めた

猩紅熱

青年隔離

川前村字五林七十六番地三郎二男佐藤貞次君（三）は伯父に當る平市材木町三二木村浩氏方に同居中發熱診察の結果猩紅熱と決定、今九日隔離した

姙產婦

補導員增加

平市では姙產婦の指導に萬全を期するため今度更に母性補導委員を四名增員することに成つた

指輪ご債券

市助成會へ寄附

平市田町十四番地藝妓屋品澤方直木トキ、竹澤幸子の姐さんは指輪を賣却して得た四圓三十三錢と七圓五十錢額面の貯蓄債券一枚を九日市助成會へ寄附

丸公忘れ

科料二圓

双葉郡久之濱町字荒蒔雜貨商新妻慶太郎（三五）は店舖の罐詰四十二個に價格表示をせずして陳列してゐたのを發見され營業違反として科料二圓に處せられた

山野記念祭

四倉町役場では十二日午前九時より日出ヶ岡公園地內の山野記念碑前で山野記念祭を執行する

傷害致死犯

廣島へ高飛びか

磐城炭礦の坑夫高恒九郎（三九）を蹴殺して逃走した同坑夫監督伊藤龍夫（三四）は東京へ高飛びして友人から旅費を借り、廣島方面へ逃れた足どり判明、平署では捜査網を廣めて各地へ手配した

痲疹流行

四倉校で六十名

四倉町には目下痲疹が流行し國民學校の兒童約六十余名の痲疹欠席者があり町內の子寶家庭では一家五名痲疹に罹つてゐるのもある

煤煙、騷音追放の 都市建築法

植田町にも適用內定

石城郡植田町は白河、須賀川、中村、田島と共に『市街地建築物法』の適用を受けることになり縣は各町村の內申を取纒めた上內務大臣へ認可申請書を提出することになつた

同市街地建築物法適用地に指定されると都市計畫に基き市街地は漸次工場、住宅商業地帶と劃然と整理され、勝手な場所に新らしく工場などの建築は許されず、稠密した住宅地から騷音や煤煙が驅逐される

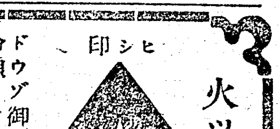
既に適用受けた縣內の都市は昭和十三年若松福島、郡山平の四市次ぎ同十五年小名濱、喜多方兩町が指定受けて居り今度の五町を合すると縣內四市七町が適用されることになり緩和規程を受ける數は東北第一位となつた

五圓拾得

落主は平署へ

今九日午後平市仲町山田文一商店前で金五圓也拾得屆があつた、落主は平警察署へ申出られたいと

商況



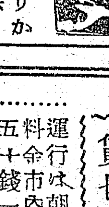
（九日）

【野菜】	高	安
フキ	六〇	
筍	一〇〇	
ニラ	一五〇	
葉王葱	一五〇	
大根	二五	
カブ	四〇	
人參	四〇	
牛蒡	四五	
ウド	九〇	
【鮮魚】		
中アジ	二〇〇	
塩ニシン	八六	
アンコ	七〇	四〇
平目	五四	
ムシ	五五	

平市慶弔錄

【出生】△平市大字中平窪字横杭五十三番地桐田英三郎八女政子さん△平市字胡摩澤十四番地桑折三男保男さん

天氣豫報



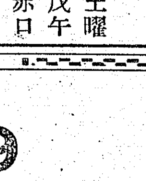
今晩 南の風曇りから次第に惡くなる

明日 南の風やゝ强く曇り小雨になりませう

（十日）

滿潮 前三、四五 後三、五五

干潮 前九、四〇 後九、四五



舊四月十五日 新五月 十日

土曜 戊午 赤口 除 胃宿

▲一白 氣運不可ならねど澁滯多し又病氣怪我注意

▲二黑 佳運にして諸事達せざるなし開店普請等吉

▲三碧 突飛なる計を立てず着實なれば安泰なる日

▲四綠 運氣衰へ家業も思ふ儘ならず靜かなるが吉

▲五黃 勝氣に任せて事を爲せば良運も不良に傾く

▲六白 成行に任すも開發を見る日下手に立廻るな

▲七赤 次第に幸運に向ふべきなれど增資と新事凶

▲八白 氣運は旺盛にて活動自由なるべく大功あり

▲九紫 訴訟爭論の起り易き日親交專一に身を處せ

火ツキ良ク火持ノ長イ
ヒシ印 煉炭
ドウゾ御用命願ヒマス
石炭 阿部商店
平市驛前 電三七・一三七番

曳前の御知らせ
漁船家屋其他動產の移動
土木建築請負
鐵道 船 仲仕請負
北村芳藏
小名濱町築港地內
御希望の方は一應御相談下さい

◇和文、歐文、タイプライター◇最新事務用品類◇文房具一式◇製圖並測量用品◇謄寫狀並に附屬品
東邦タイプライター代理店
東邦タイピスト養成所
事務用器 藤森商會
平市田町銀座街 電二九六番
仙臺振替五一〇番

乘合貸切 馬車御案內
乘合區間平、夏井間、平發午前七時午前九時、午後一時、午後四時の四回
貸切馬車 は新体制下に於ける乘り心地よき快適な仕立
運行は朝の六時から夜間は十時まで料金市內七十五錢、市外四キロ二圓五十錢一キロを增す每に一圓增
大河原トラック部
同 乘合馬車部
平市大町 電五七六

電話 增設No.139
釜屋商店電氣部
電話No.316

お宅の体温計は正確ですか？ 無料で体温計を檢査して差上げます、どうぞ御遠慮なくお持ち下さい 毎月十日は
醫療藥品 工業藥品 有名賣藥 衛生材料 食料品
架料塗料 寫眞材料 化粧品各種 吸入用酸素 計量器各種
計量器指定販賣所 みやこ染特約店
資生堂
小名濱町本町通り 電話一四七番

トンカツ
とんかつ專門の店
出前は迅速におつとめ致します
かの家
平市仲田町 電話四六五番